

提出第7号

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等を報告する書類の提出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、令和6年度教育委員会活動の点検及び評価報告書を別紙のとおり提出する。

令和7年11月28日提出

京丹後市教育委員会

令和6年度

教育委員会活動の点検及び評価報告書

令和7年11月

京丹後市教育委員会

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第二十六条の規定に基づき、令和5年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

京丹後市教育委員会委員名簿（令和6年度末現在）

職名	氏名
教育長	松本明彦
教育長職務代理者	野木三司
委員	関美幸
委員	田村浩章
委員	安達京子

目 次

○自己点検・評価について ······	1
○教育に関する学識経験者の意見 ······	3
I 教育委員会の活動状況	
1. 教育委員会の開催状況 ······	9
2. 教育委員会委員の主な活動 ······	12
II 施策評価・進捗管理調書	
【重点目標 1】就学前の子どもの教育・保育環境を充実します ······	15
① 就学前教育の環境整備	
② 保育所、認定こども園及び小学校の連携強化	
【重点目標 2】確かな学力・生き抜く力を育みます ······	24
① 小中一貫教育の推進	
② 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上	
③ 確かな学力の育成	
④ 社会を生き抜く力の育成	
【重点目標 3】子どもを健やかに育む教育環境を充実します ······	39
① 子どもの安全・安心の確保	
② 学校施設環境等の整備充実	
③ 個に応じた支援体制の充実	
④ ボランティアによる学習支援の推進	
⑤ 教職員が子どもと向き合える環境づくりの推進	
【重点目標 4】豊かな人間性・社会性を育みます ······	58
① 人を思いやり、尊重する社会性の育成	
② 生徒指導体制、教育相談体制の充実	
③ 家庭・地域の教育力の向上	
④ 文化芸術を通じた豊かな感性、情緒の育成	
【重点目標 5】生涯にわたる豊かな学びを支援します ······	68
① 生涯学習の体制づくり	
② 人権教育の推進	
③ 社会教育施設等の整備充実	
【重点目標 6】歴史・文化芸術を活かし、豊かな感性と郷土への愛着と誇りを育みます ······	80
① 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	
② 地域の文化財の総合的な保存と活用	
③ 資料館施設等の整備充実	
④ 文化芸術活動の推進	
【重点目標 7】たましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します ···	89
① 健康な体づくり	
② 食育の推進	
③ 地域スポーツ活動の推進	
④ 競技力の向上	
⑤ 社会体育施設等の整備充実	
⑥ スポーツ観光のまちづくり	
III 学校評価・学校関係者評価	
学園毎評価・学校評価自己評価	
1. 学園小中一貫、こども園、学校評価学校関係者評価報告一覧 ······	101
2. 学園小中一貫教育報告書 ······	106
3. 学校評価学校関係者評価報告（こども園、小・中学校） ······	139

令和6年度の教育活動を振り返って

令和6年度の教育行政は、京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき、京丹後市が目指す教育「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創りだす力を育む教育」の実現に向け、さまざまな教育施策を推進してきました。

京丹後市の最も重要な教育振興策である「保幼小中一貫教育」も9年目を迎える、6つの学園が特色を生かしながら、子どもたちの育ちと指導の一貫性を軸とした質の高い教育活動に取り組みました。

子育て支援関係では、令和6年度に「こども家庭センター」を設置し、母子保健機能と児童福祉機能の一体的な相談支援の体制整備のもと、関係機関と連携しながら、子どもや家庭の相談支援及び児童虐待の防止等に努めました。ヤングケアラー関係では、市内小中学校を対象に実態調査を実施し、児童生徒への支援に向けての取組を行いました。公営の保育所、幼保連携型認定こども園では、保育業務支援システムを活用し、保育業務の負担軽減や、保護者連絡の利便性の向上を図ることができました。また、峰山こども園では、乳児のうつぶせ寝による窒息死等を未然に防ぐAIを活用した午睡見守りシステムを導入し、保育士とAIのダブルチェックによる安全安心な見守り体制の充実を図りました。網野地域子育て支援センターにおける土曜日開所や各支援センターの開放日の拡大など、より利用しやすい環境を整備し、子育て支援の充実を図っています。さらに、物価高騰による影響が長期化する中、低所得者の子育て世帯の経済的支援として、子育て支援給付金を給付しました。

学校教育関係では、令和6年1月末に公表した「京丹後市の新たな教育・人材育成に関する在り方検討会最終まとめ」をもとに子どもの変革につながる4つのプロジェクトを推進してきました。また、学校適正配置基本計画に基づき、既に複式学級が発生している宇川小学校と、長岡小学校でも保護者や地域住民に対する説明会を開催し、計画に対する理解を深める取り組みを行い、令和8年度からの適正配置を決定しました。グローバル人材育成事業では、昨年度同様に、中学生海外派遣事業やオンライン留学を実施し、コミュニケーションツールとしての語学力の向上や国際的視野を持った人材の育成を目指しました。また、英語力向上アプリ「ELSA Speak」の全中学校生徒への導入や探究型ワークショップ（「Kyotango Sea Labo」）の開催により、創造性や自己肯定感の向上、キャリア意識の変革、STEAM分野への興味関心の向上などの成果も確認することができました。

学習環境の整備では、トイレ洋式化事業を計画的に進め小中学校のトイレ洋式化を完了させるとともに網野学校給食センターについて、建築後37年が経過し、施設の老朽化が進行していたことなどから、学校給食衛生管理基準に適合した、より衛生的で安全性を重視した給食施設とするため建替え、整備を行いました。また、国のG I

G Aスクール構想に基づき、全小中学校に整備した高速校内ＬＡＮ環境及び、児童・生徒・教職員1人1台のタブレット端末の活用を推進するとともに、学校だけでなく家庭学習においてもタブレットを有効活用するため、持ち帰り学習の取組を推進しました。今後もG I G Aスクール構想の充実に向けたＩＣＴ環境の利活用を着実に実施していきます。

社会教育関連事業については、生涯学習課及び地域公民館を中心に乳幼児から高齢者まで各世代を対象とした学習機会の確保に努めました。また、成人式を「はたちを祝う式典」として開催して3年目を迎え、新たに式典対象者の中から企画委員を募集し、式典内容について企画・意見を出し合い、その内容を式典に反映する取組を行いました。文化芸術事業では、令和5年3月に策定した「京丹後市文化芸術振興計画」をより具体的に進めるため、「京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議」を立ち上げるとともに、昨年度に引き続き「アートフェスティバル2024」を開催し、学びや体験を通して創作や表現をすることの楽しみを体得できる機会を提供しました。社会体育関連事業では、第2次スポーツ推進計画の中間見直しを行い、令和9年度までの取り組むべき施策を明らかにし、基本目標及び取組の内容を具体的に示しました。各種スポーツ大会の実施により、市民のスポーツ機会を創出するとともに、スポーツ環境の整備や、（一社）京丹後市スポーツ協会が本格的に運営を開始するなど社会体育団体支援にも積極的に取り組みました。

文化財関係では、京丹後市文化財保存活用地域計画を推進する中、令和5年度に発足した「市民遺産制度」の受付を開始、初認定を含む5件を認定することができました。また、令和9年3月に丹後震災100年の節目を迎えるにあたって、現在閉鎖中の丹後震災記念館の耐震化・利活用の検討を始め、耐震化及び利活用について一定の方向性を示す方針書の取りまとめを行いました。

このように、令和6年度は、保幼小中一貫教育を手段とした教育の質の転換、子どもの放課後対策や子育て支援、学校適正配置の取組、グローバル人材育成の推進、学習環境の整備、生涯学習・スポーツ振興の推進、文化財保存活用の検討、施設の改修整備など本市の懸案となっている課題の解消に向けてさらなる取組を進めてきました。本市教育振興計画の「京丹後市が目指す教育」の達成に向け、今後もさまざまな教育活動を推進していきます。

令和7年11月

京丹後市教育委員会

【教育に関する学識経験者の意見】

教育に関する学識経験者の意見

1 外部評価者 職名 京都教育大学大学院連合教職実践研究科教授
氏名 竹沙 知章
令和7年10月24日（評価を行った日）

2 序論

令和6年度では、前年度に引き続き、京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき、京丹後市が目指す教育「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創りだす力を育む教育」の実現に向け、さまざまな教育施策が推進されてきた。さらに、「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会」の報告書に基づき、その実施に取り組まれ、令和6年度は、将来を見据えた新たな教育・人材育成に向けて、本格的にその取り組みに着手された年度であったと言える。

本意見書では、「教育委員会活動の点検及び評価報告書」（以下、「報告書」）を主として分析し、また各種の資料や教育委員会会議と総合教育会議の議事録も参照しながら、令和6年度に取り組まれた事業について、外部者の視点から意見を述べることにしたい。

3 主な施策等の成果と課題

（1）教育委員の活動について

教育委員会会議は、12回の定例会議と4回の臨時会議が開催されていた。重要な議題について、活発な意見交換がなされていたと思う。印象に残ったのは、令和5年度でも議論になった「こども未来課」について、市長部局の「こども部」に移行されたことにより、交流が全く途絶えてしまったような気がするという発言が教育委員よりあり、今後の教育委員会会議でのこども未来課長の出席などが議論されていた。昨年度も指摘したことだが、保幼小中一貫教育を進めるうえで教育委員会事務局と市長部局との連携は重要であり、そのことが教育委員にも認識できるようにしておくことは、教育行政にとって重要なことだと思う。その他、「京丹後市学びの変革推進事業補助金交付要綱」の制定について審議され、決定された点も注目される。「子どもが“ワクワク”する教育実践」に補助金を支出しようとするもので、「子どもが“ワクワク”する」取り組みなどについて質疑がなされており、新しい試みが生まれるのではないかという期待感をもたせるような議論になっていたと思う。

総合教育会議は2回開催されたようである。ホームページでは、令和6年11月1日の第1回の会議しか記録を確認することができなかった。11月1日の会議では、いじめ、不登校という子どもにかかる課題が取り上げられていた。いじめ、不登校は、どうしても件数、人数や出現率をめぐる議論になりがちだが、子どもの実態に即した丁寧な議論がなされていたと思う。また教育大綱についても議題とされ、京丹後市の今後を展望する大きなビジョンの中で教育のあり方が議論されていた。子どもの実態に丁寧に目を向けながら、大きな将来展望を考える議論が展開されており、有意義な会議であったと思う。

（2）重点目標に関する活動について

1) 保幼小中一貫教育の推進について

保幼小中一貫教育については、令和6年度も「学校評価自己評価」の報告書からその成果をよく理解することができる。各学園では、全体研修会、授業研究会が実施され、学園全体で協議し、授業のあり方を議論する体制が整えられていると思われる。「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会」の報告書を受けて、その実現に向けた様々な事業が京丹後市全体で着実に取り組まれている。こうした事業計画を各学園で組織的に取り組む体制は整備されていると評価できる。特に「プロジェクト1 学びの変革」の事業については、保幼小中一貫教育の体制の中で各学園、各学校園での実践的研究に支えながら実現していくことが期待されるであろう。一気に展開することは難しいと思われるが、教育委員会から持続的に問題提起をしていくことが必要であると思う。

2) 学校園、家庭、地域の協働による 教育力の向上

学校園、家庭、地域の協働については、学校関係者評価がしっかりと取り組まれていることが確認できた。こども園、小学校、中学校の各学校園の自己評価書において、学校関係者評価の欄が設けられ、具体的で、前向きな意見が寄せられていることが理解できる。すべての項目について意見が付されていることは、各学校園の取り組みがきちんと説明され、地域や保護者の委員の方々によく理解されていることを示すものである。学校園関係者による評価が適切になされ、学校と家庭、地域との協

働がより深まつたと評価することができる。

3) 確かな学力の育成について

教育振興計画の目標指標は、令和6年度が最終年度である。市平均の全教科全国平均以上が目標指標であったが、残念ながら全教科で全国平均を上回ることはできなかった。最終年度であることから、今期の教育振興計画の総括的な評価と丁寧な分析が必要であると思われるが、「教育委員会活動の点検及び評価報告書」ではそうした記述を見ることはできなかった。学力状況調査の平均を上回るという目標が適切であったかどうかも含めて、子どもたちの学力の状況、学校での授業や指導のあり方について点検、評価し、今後の展開を検討する必要があると思う。最終年となり、目標が達成できたかどうかが気になるところであろう。問題は、目標を達成できたかどうか、その結果やその要因だけでなく、その目標自体が適切であったかどうか、またそもそもどのようなねらいでそのような目標を設定したのか、その意図を改めて考え、次の計画につなげていくことが必要であると思う。学習指導要領の改訂の議論も始まっており、学力観も常に見直すことが求められている。学力をどのように捉え、どのような授業を行っていくのか、研修会、研究会で継続的に検討していただきたいと思う。

4) 社会を生き抜く力の育成について

「グローバル人材育成事業」の取り組みは、令和5年度に引き続き、非常に充実していて注目される。グローバル人材育成に関して、外国語教育の充実を図るだけでなく、産学連携のもと新たな可能性を創造する STEAM 教育の推進を図っている点が重要である。国際的に活躍するために必要な力を身につけさせるために、最新の教育を研究し、学校教育に取り入れようと取り組んでいる点は高く評価されるであろう。

その取り組みである Kyotango Sea Labo は、3年目で Sky Labo との共同プロジェクトの最終年度であった。参加した中高生のプレゼンテーションは充実していて、大きな成果が得られたように思う。また小中学校の教員も参加し、1つのチームを形成して取り組んだことは、学校の教員の Kyotango Sea Labo の理解を深めるとともに、その場の雰囲気をたいへん盛り上げることにもなり、本プロジェクトの充実に大いに貢献したと思う。今後、Kyotango Sea Labo をどのように継続していくのか、そしてそのエッセンスをどのようにして京丹後市の今後の学校教育の浸透させていくのか、地道な検討、研究を続けていただきたい。

5) 生徒指導体制、教育相談体制の充実について

いじめ、不登校の問題は、総合教育会議で常に議題とされており、市の重要な課題として認識されている。教育振興計画の目標指標の達成状況について見ると、達成できていないものが多く、問題の難しさを示していると思う。特に不登校については、目標は出現率を減少させるとなっていたが、大幅な増加となってしまった。その要因は様々であろうし、学校教育、教育行政のあり方にそれを求めることもおそらく単純にはできないであろうと思う。まずは校内フリースクールをはじめとして学校内外の学びの場を整備し、子ども基本法の基本理念を踏まえて、子どもと様々に向き合いながら今後のあり方をじっくりと考えていくことが求められるように思う。

4 総括

令和6年度は、今期の教育振興計画の最終年度であった。したがって、この10年間もしくは5年間の取り組みを振り返り、目標の達成状況、新たな状況に対する取り組みの状況などを整理し、それを踏まえた点検、評価が必要である。しかし、「教育委員会活動の点検及び評価報告書」では、例年通りの点検、評価に終始していると思われる。少なくとも「令和6年度の教育活動を振り返って」において最終年度の総括的評価が示されるべきであったと考える。その意味で、教育振興計画に基づいて事業を行っているのか、疑念を持たれる恐れがあると思う。

5 総合評価

令和6年度には、令和7年度から5年間の教育振興計画の策定が行われた。「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会」の報告を受けて、京丹後市の教育行政は劇的とも言ってよいほどに変貌を遂げたと評価できる。教育振興計画も大きく刷新された。多くの優れた第一線で活躍されている専門家の意見を積極的に取り入れながらも、独自に中長期的で、大きなビジョンを掲げた画期的な計画が示されたと言える。計画がプロジェクトとして示された点にこれから新しい教育を創造し、京丹後市を発展させようという意欲を見ることができる。新たな教育振興計画の初年度である令和7年度においては、刷新された計画にふさわしい新たな点検、評価が実施されることを期待したい。

教育に関する学識経験者の意見

1 外部評価者 職名 京都文教大学 総合社会学部総合社会学科 教授
氏名 澤 達大
令和7年10月24日（評価を行った日）

2 序論

令和6年度『教育委員会活動の点検及び評価報告書』、ならびに関係部署が発行する各資料に基づき、自己点検評価の点検を行った。令和6年は10年の節目を迎えた「京丹後市教育振興計画」の策定もあり、例年なく多忙な状況であったことと察する。関係各位のご尽力に改めて敬意を表したい。評価報告書は、これまで以上にPDCAサイクルを働き、社会の変化や住民のニーズ等に合わせた事業の見直しをすることが求められる。そのような観点も含め、以下のとおり意見を論じる。

3 主な施策等の成果と課題

（1）教育委員会の活動状況

定例会・臨時会は昨年度と同様に16回開催となった。議案番号の中で、欠番（議案取り下げ）が1つのみであり、事前に綿密な調整がなされた結果と考えられ、関係職員による入念な準備に尽力された結果と考えられる。委嘱などのルーティン議案以外に、毎年同様の行事ではなく年度ごとに内容の変化がみられる。また8月の臨時会では、教科用図書の採択に関する議事があった。中学校の教科用図書の改訂による採択については、授業時のタブレット使用を意識し、丁寧で慎重な検討が行われたことと考えられる。

管内・管外視察実施状況については、昨年度と同様にICT教育、プログラミング教育に関する視察を行っている点は注目に値することができる。2025年9月に中央教育審議会の教育課程企画特別部会で示された次期学習指導要領の論点整理素案において、小学校「総合的な学習の時間」における情報教育を取扱うことや、中学校で「情報・技術科（仮称）」を新設することが検討されている。プログラミング教育における情報経営イノベーション専門職大学との連携や、免許外教科担任制度の活用や外部講師の招聘等は時代の先を見据えており、他の教育委員会が着手していない取組みを積極的に行っていると評価できる。情報教育の進展は、校務の情報化にもつながると考えられるので、今後の展開に期待したい。

「Kyotango Sea Labo」プログラムは3年目を迎えた。このプログラムには夏季休業中に比較的多くの中高生が参加しているが、上級生の成果が報告される中で、下級生たちに良い情報が伝播し、憧れをもってプログラムへの積極的な参加が促されるサイクルが出来上がりつつあるものと思われる。次年度より市教委主体で実施することであるが、質を落とさず、継続して取り組まれることを期待している。

（2）施策評価・進捗管理調書

7つの重点目標のうち、5、6における施策進捗状況の自己評価は▲（少し遅れている）であった。各目標の自己評価をふまえて、重点目標の項目ごとに気付いた点を述べる。

＜重点目標1 就学前の子どもの教育・保育環境の充実＞

保護者の就労と保育は一体で検討しなくてはならないものであるが、待機児童ゼロの継続ができる点は評価したい。一方で社会情勢としては、父親の子育て参画についても拡がりをみせている。振興計画内には目標設定していないため成果の報告としては記されていないが、子育ての不安は母親1人で子育てしなくてはならない孤独感が関係している。現場での課題認識が必要であると考えられる。

＜重点目標2 確かな学力・生き抜く力の育成＞

今後の課題の中で、「学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒」の項目について目標指標を見直す必要があるとの記述があった。タブレット使用による工夫や帰宅後の子どもたちの過ごし方の多様化等の分析があったが、もう少し分析がほしい。自宅課題そのものが単純な作業に陥っていないか、興味関心が高まり児童生徒が力を身に付けられた課題であるか、児童生徒の声も聴きながら検討していくことを期待したい。また、丹後学の実践授業であるが、「丹後ばら寿司づくり」については作る経験が1回で終わらせせず、京丹後市の小学校を卒業した児童生徒なら誰でもがサポートなしで作れるよう、例えば中学生が小学生に教える、合同で行う等、目玉となる取組みができるとよい

あろう。

＜重点目標3 子どもを健やかに育む教育環境＞

物価高や建設関係費・燃料費等の高騰の中で、報告には書ききれない現場での努力があつたことと思われる。児童生徒の安全確保を優先させながら、中長期的な視野も必要であり、特に学校統廃合による旧校舎の施設利用については、知恵を生かして市の収入を得られるシステムを検討していただきたい。

＜重点目標4 豊かな人間性・社会性＞

いじめ解消率等の数値等、市全体での取り組みは良好な傾向にあるが、いじめはいけないことだという意識をもつ児童生徒が非常に多い一方で、意識と行動が乖離する現象は何かを分析・考察していく必要がある。特に幼稚園・保育園時代から人間関係が狭い中で過ごすため、例えば幼少期の失敗を取り上げられるなど、実際に過ごす児童生徒も心の負担は大きく苦労があると察することができる。児童生徒のストレスマネジメントを行い、いじめ行動につなげないように工夫することが必要である。

＜重点目標5 生涯にわたる豊かな学びの支援＞

図書館については、ニーズ把握に努め、対応を検討していくとのコメントがあった。現在は、カフェを併設したり、駅や避難所と一体化したりするなど、従来にはない発想で入館者数を増やしている市町村図書館がある。また、貸出数が指標となっているが、デジタル化の時代に本を借りずに閲覧だけで済ませる人も一定数いるため、まさにニーズ把握と限られた予算内での変革が求められていると考えられる。

＜重点目標6 歴史・文化芸術を活かし、豊かな感性と郷土への愛着と誇りを育む＞

市HPのデジタルミュージアム、文化財ライブラリーについては情報の宝庫として有用であるが、単純に羅列してあるだけのため、興味を持てるような見せ方の工夫が必要である。また、「京丹後史博士」事業については、ガイド育成により小中学校の教育にも影響を与えると考えられる。博士として認定された人材について、数値だけでなくその人材の活用がどのように進んでいるか、検証がほしい。

＜重点目標7 たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツの推進＞

目標値を達成できない項目が多数ある中で、公共スポーツ施設の利用者回数が増加したことは、大変良いことと思う。一方で、その回数と比較して、中学2年生のスポーツテストの結果や成人の週1回以上のスポーツ実施率の低さは、年齢が上がるごとにスポーツをする人としない人の差が開いた結果と受け止めることができる。また、施設については集約化や指定管理者制度の導入だけでなく、防災の観点から備品等の普段からの管理が問われることであろう。

(3) 学校評価自己評価

各学園とも、昨年度までの課題に対して今年度にどのような取り組みをしたか、具体的に記されており、P D C Aサイクルがしっかりと回っていることを確認した。紙面の関係で一部になるが、印象に残ったのは丹後学園の内容で、『「学校は楽しい」と感じている児童生徒の割合は高いが、「あまり楽しくない」「楽しくない」と感じている児童・生徒へ目を向け、丁寧なアセスメントを行う必要がある』と自己評価したが、諸課題の原因を解決する要素と考えられる。アセスメントの分析・結果に期待したい。

4 総括

自己点検評価について、参考となる客観的資料が多く、詳細な内容まで網羅されている点は評価したい。本来の業務に支障が出ないように配慮しながらも。引き続き改善の視点を持ち続けてほしい。

5 総合評価

目標指標の基準設定については、SMARTの基準が必要である。(Specific: 具体的)、Measurable(測定可能)、Achievable(達成可能) Relevant(関連性) Time-bound(期限設定)とされるが、目標指標を見直す場合は、この視点により柔軟な判断が求められるといえよう。

I 教育委員会の活動状況

I 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況（令和6年4月～令和7年3月）

教育委員会議は、毎月1回「定例会」を、また必要に応じて「臨時会」を開催し、令和6年度は合計16回開催しました。

- (1) 教育委員会定例会… 12回
- (2) 教育委員会臨時会… 4回

○令和6年度 教育委員会審議案件等一覧

年月日	会議名	議案番号	議案件名
令和6年4月1日	4月定例会	48	京丹後市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について
		49	プログラミングラボ体験＆家計・お金の話の開催に係る後援について
		報告3	京丹後市スクールガード・リーダーの委嘱について
		50	京丹後市文化財保護審議会委員の委嘱について
		51	京丹後市自治公民館活動交付金交付要綱の一部改正について
令和6年5月1日	5月定例会	52	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について
		53	専決処分の承認について（京丹後市教育委員会事務局文書取扱規程の一部改正について）
		54	専決処分の承認について（京丹後市立小中学校修学旅行引率補助金交付要綱の廃止について）
		報告4	京丹後市学校評議員の委嘱について
		55	京丹後市社会教育委員の委嘱について
令和6年6月3日	6月定例会	56	京丹後市図書館協議会委員の任命について
		57	京丹後市教育支援委員会規則の全部改正について
		58	令和6年度近畿高等学校総合体育大会カヌー競技 第23回近畿高等学校カヌー選手権大会に係る後援について
		59	教えてマイスター！ものづくり体験@京都in丹後王国「食のみやこ」に係る後援について
		60	専決処分の承認について（京丹後市スポーツ推進審議会委員の委嘱について）
		報告5	京丹後市奨学金選考・検討委員会委員の委嘱について
		報告6	京丹後市教育支援委員会委員の委嘱について
		報告7	京丹後市学校給食献立作成委員会委員の委嘱について
		61	絵本からの街づくりに係る後援について
		62	みんな集まれー！真夏のウォーターサバゲーフェス！～外遊びは自由だ！～に係る後援について
令和6年7月8日	7月定例会	63	こんぴら手づくり市に係る後援について
		64	2024年 第9回「こまねこまつり」に係る後援について
		65	専決処分の承認について（ふれあいサッカー教室に係る後援について）

年月日	会議名	議案番号	議案件名
		報告8	京丹後市教育振興計画策定委員会委員の委嘱について
		報告9	京丹後市立小中学校修学旅行引率補助金交付要綱の制定について
		報告10	京丹後市学びの変革推進事業補助金交付要綱の制定について
		報告11	京丹後市文化財保存活用地域計画推進協議会委員の解職及び委嘱について
		報告12	京丹後市教育振興計画進捗管理について
令和6年8月1日	8月定例会	66	京丹後市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について
		67	サークル公開練習・体験会に係る共催について
		報告13	保幼小中一貫教育研究推進協議会委員の委嘱について
		報告14	公益財団法人京丹後市公園緑化事業団の経営状況について
		報告15	公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について
		報告16	京丹後市大学等受験料支援補助金交付要綱の制定について
令和6年8月23日	8月臨時会	68	令和7年度使用京丹後市立中学校教科用図書の採択について
		69	令和7年度使用京丹後市立小学校教科用図書の採択について
		70	京丹後市立学校医の委嘱について
令和6年9月2日	9月定例会	71	京丹後市中学生海外派遣事業参加費補助金交付要綱の一部改正について
		72	2024年度 第53回 児童文化のつどいに係る後援について
		報告17	絵本からの街づくりに係る後援について（変更）
令和6年10月1日	10月定例会	73	欠番
		74	京都府北部バスケットボールカーニバルに係る後援について
		75	専決処分の承認について（第1回久美浜芸術祭 久美浜出身絵本作家・津田櫻冬「おばあさんのゆめ」を遊ぶ 久美浜のゆめ 文化でまちづくり、人づくりの後援承認の取消しについて）
		76	令和6年度スポーツ体験教室に係る後援について
		77	まりこふんと行く！日本海三大古墳めぐりツアーの開催に係る共催について
令和6年11月1日	11月定例会	78	令和5年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について
		79	丹後震災記念館耐震化・利活用検討委員会設置要綱の制定について
		80	ドワーフ「こまねこ」ワークショップ2024in京丹後市と「こんぴら手づくり市」に係る後援について
		81	田中綾ピアノリサイタルに係る後援について
		報告18	京丹後市市民遺産の初認定について
令和6年12月2日	12月定例会	82	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について
		83	キッズマネースクールおみせやさんごっこ＆はたらくってな～に？に係る後援について
		84	専決処分の承認について（京丹後市立網野学校給食センター条例の一部改正について）

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
		85	京丹後市立図書館条例施行規則の一部改正について
令和7年1月6日	1月定例会	1	令和6年度 卓球教室の開催に係る後援について
		2	文化財講座「丹後の祭り・行事～京都府祭り・行事調査から～」の開催に係る後援について
		報告1	京丹後市立網野学校給食センター整備工事（機械設備工事）請負契約の変更について
令和7年2月3日	2月定例会	3	令和7年度全国学力・学習状況調査の実施について
		報告2	慰謝料等請求調停事件に係る調停申立について
令和7年2月14日	2月臨時会	4	令和7年度教育委員会関係予算について
		5	令和7年度「学校教育指導の重点」について
		6	令和7年度「社会教育推進の重点」について
令和7年2月26日	2月臨時会	7	令和7年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について
		8	京丹後市立学校教職員結核管理規程の一部改正について
		9	京丹後市教育振興計画の策定について
令和7年3月14日	3月定例会	10	令和7年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について
		報告3	京丹後市立網野学校給食センター整備工事（建築主体工事）請負契約の変更について
		報告4	京丹後市立網野学校給食センター整備工事（機械設備工事）請負契約の変更について
令和7年3月24日	3月臨時会	11	令和7年度京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について

2. 教育委員会委員の主な活動

(1)管内視察実施状況 2箇所(京丹後市こども部、京丹後市立弥栄中学校)

参観や懇談の中で、各施設の教育実践及び課題等に向けた取組みの理解を深めることに努めました。

(2)管外視察実施状況 1箇所(京都市立南大内小学校)

・ICTを活用した授業展開について

(3)教育委員協議会開催状況 2回

・京丹後市網野温泉プールの利活用について

・京丹後市教育振興計画案について

(4)総合教育会議 3回

令和5年度「いじめ・不登校の状況」について、京丹後市教育振興計画の策定状況について、令和7年度予算案の検討状況について、京丹後市教育大綱の改訂について市長と協議・意見交換を行いました。

(5)各種研修会・視察の参加 5回

文部科学省、京都府教育委員会連合会等が主催する研修会等（オンライン開催含む）に積極的に参加し、教育行政の諸課題について情報提供を受けました。

年月日	件 名	場 所
令和6年4月5日	市内保育所入所・進級式	市内各保育所
令和6年4月8日	市内認定こども園入園・進級式	市内各認定こども園
令和6年4月9日	市内小学校入学式	市内各小学校
令和6年4月10日	市内中学校入学式	市内各中学校
令和6年4月17日	第1回校(園)長、保育所長会議	大宮庁舎
令和6年5月22日	令和6年度丹後地方教育委員会連合会定期総会	セントラーレ・ホテル京丹後
令和6年5月29日	令和6年度京都府市町村教育委員会連合会定期総会・研修会 講演1 演題 『非常災害時における対応について ～能登半島地震被災地での支援活動から～』 講師 京都府教育庁指導部高校教育課首席総括指導主事 田中誠樹氏 同 学校教育課総括指導主事 平山孝次氏 講演2 演題 『当面の教育課題について』 講師 京都府教育庁 指導部長 相馬直子氏	京都府総合教育センター
令和6年7月8日	教育委員任命通知書交付式(田村浩章委員)	京丹後市役所
令和6年10月21日	令和6年度丹後地方教育委員会連合会教育委員等研修会 講演『不登校児童生徒への対応』 講師 京都府健康福祉部家庭・青少年支援課 チーム絆 早期支援特別班 支援コーディネーター 岡部隆志氏	宮津市中央公民館
令和6年11月8日	令和6年度京都府内市町（組合）教育委員会研修会 演題 『学校のデジタル化を踏まえたこれからの教育の在り方について』 講師 社会構想大学院大学コミュニケーションデザイン研究科 中川哲氏	京都府庁

年月日	件 名	場 所
令和6年11月13日	<p>令和6年度近畿市町村教育委員会研修大会</p> <p>(1) 講演 演題 『学校と地域でつくる学びの未来 ～コミュニティ・スクールの可能性～』 講師 三鷹教育・子育て研究所 所長 貝ノ瀬滋氏 東京都三鷹市教育委員会事務局 教育部 教育政策推進室 室長 越政樹氏</p> <p>(2) 事例発表 テーマ『多様な学び支援について』 発表者 奈良県奈良市教育委員会 教育長 北谷雅人氏 テーマ『子育て応援・相談センター ほっとステーション ～こどもまんなかの視点に立った教育を目指して～』 発表者 奈良県天理市教育委員会 次長 山口忠幸氏 奈良県天理市教育委員会事務局 教育総合センター 主幹 中尾俊夫氏</p>	大宮庁舎 (オンライン開催)
令和6年12月20日	令和6年度いじめ防止講演会 テーマ 『いじめ加害者の心理学－いじめにつながる考え方た－』 講 師 甲南大学 文学部人間科学科 教授 大西彩子氏	アグリセンター大宮
令和7年1月19日	<p>令和6年度京丹後市教育フォーラム 行政説明「Kyotango Sea Labo」の取組について 「令和6年度学校教育指導の重点」について</p> <p>演題 『子どもたちのミライのために～今 私たち大人がすべきこと・ できること そして 京丹後市への期待～』 講師 前さいたま市教育長 細田眞由美氏</p>	アグリセンター大宮
令和7年3月14日	京丹後市立中学校卒業式	市内各中学校
令和7年3月16日	令和7年京丹後市はたちを祝う式典	京都府丹後文化会館
令和7年3月21日	京丹後市立小学校卒業式	市内各小学校
令和7年3月24日	京丹後市立認定こども園卒園式	市立各認定こども園
令和7年3月25日	京丹後市立保育所修了式	市立各保育所